

タックス

平成30年12月3日発行 第101号 共通版

転倒災害を防止しましょう

転倒災害は、休業4日以上労働災害の約4分の1を占め、最も多い労働災害です。特に、例年12月から2月にかけて、積雪や凍結による転倒が多く発生しています。職場を点検し、滑りやすい場所に手すりや滑り止めを設置したり、注意を呼びかけるなどして、転倒災害を防止しましょう。



事故発生

JAえちご上越管内 農作業事故発生状況

10、11月中に、JA管内で1件の農作業事故が発生（30年度 累計14件）

- 米選機の掃除中、踏み台に乗って米選機の上から揚穀螺旋筒を差し込んだとき、揚穀螺旋筒と米選機の間で左手が挟まれた。左手親指の付け根を切創。

持続的な地域農業のための担い手連携研修会の開催について

日時：平成30年12月18日（火） 13時30分～16時20分
 会場：ユートピアくびき希望館 第3大会議室 対象：農業経営者、関係機関・団体
 内容：「農地と多様な農家を結合させる法人経営～地域農業の新たな展開に向けて～（仮）」
 講師（株）田切農産 代表取締役 紫芝 勉 様
 「上越市清里区における担い手連携の取組（仮）」
 講師（有）グリーンファーム清里 代表取締役 保坂 一八 様
 申込：平成30年12月7日（金）までに農業対策課（経営サポート）へご連絡ください。

設立初期の農業法人運営管理研修会の開催について

日時：平成31年1月17日（木） 10時～16時30分
 会場：燕三条地場産業振興センター メッセピア5階 総合研修室①
 対象：設立初期の農業法人（概ね5年以内）、設立手続中の組織等の代表、経理担当者等
 内容：「法人化後の経営安定化に向けて！（仮）」
 ・経営と経営計画 ・法人の経営目的と目標の設定 ・決算書と会計から現状を把握する など
 講師 農業経営支援研究所代表 木下 徹 様
 申込：平成30年12月19日（水）までに農業対策課（経営サポート）へご連絡ください。
 ～お申し込み・お問い合わせ先～ 農業対策課（経営サポート） TEL：025-527-2035



平成30年産米 品質概況 ～11月26日現在～

上段 累計検査数量(単位:60kg) / 下段 上位等級比率

品種	上越地区	わかば地区	頸北地区	頸南地区	全体
コシヒカリ	127,137.9 91.7%	11,913.5 87.9%	72,566.3 92.4%	46,444.8 92.2%	258,062.5 91.8%
こしいぶき	56,388.2 83.0%	2,008.0 84.8%	25,765.4 83.5%	11,319.6 84.7%	95,481.2 83.4%
つきあかり	28,677.8 43.3%	2,199.0 19.7%	13,531.7 28.7%	7,568.5 26.8%	51,977.0 36.1%
みずほの輝き	39,809.2 93.9%	632.0 83.9%	25,740.9 95.9%	8,510.3 93.4%	74,692.4 94.4%
五百万石	657.5 100.0%	4,196.2 83.8%	19,558.2 94.1%	1,060.5 71.9%	25,472.4 91.6%
こがねもち	1,290.5 43.4%	1,210.0 59.6%	1,939.0 58.7%	658.5 39.9%	5,098.0 52.6%
わたぼうし	2,172.0 70.0%	71.5 23.1%	6,909.0 40.6%	156.0 83.3%	9,308.5 48.1%

上越市では「人・農地プラン」の作成・修正をお願いしています

上越市では、農地中間管理事業において「人・農地プラン」が益々重要な役割を持つことから、プランの作成および修正を各集落へ依頼することになりました。12月頭に農家組合長様へ依頼文書を配付しています。

「人・農地プラン」とは？・・・今後の地域農業のあり方を話し合いによって決める「未来の設計図」です。具体的には、地域の人と農地の現状、地域の中心となる経営体、将来の農地利用のあり方等を記入します。

プランは農地の属地で作成するの？・・・プランは属人ではなく、農地の“属地”で作成してください。農地貸借の受け手・出し手となる方は、自分が住んでいる集落のプランだけでなく、農地のある全ての集落のプランに氏名等を記載することが必要です。

プランの必要性は？・・・農地中間管理機構を通じた農地の貸付先の決定に当たっては、「人・農地プラン等の地域合意を最大限に配慮する」とされ、また、農用地の集積・集約に協力した者や地域に交付される機構集積協力金*は、農地中間管理機構を通じて農地の貸借を行った場合のみ対象となります。

プラン作成のメリットは？・・・プラン作成により、次の支援を受けることができます。

- (1)新規就農者に、農業を始めてから経営が安定するまで最長5年間、年間最大150万円が給付されます。
- (2)地域の中心となる経営体に位置付けられた認定農業者が、スーパーL資金を活用し農機具等を購入する際の貸付当初5年間の金利が、利子助成により実質無利子化されます。
- (3)地域および出し手へ、機構集積協力金*(経営転換協力金・耕作者集積協力金・地域集積協力金)が交付されます。(※平成31年度の機構集積協力金は現在不明なため、平成30年度の内容で記載しています。)

提出期日：平成31年1月15日(火)

お問い合わせ先：上越市農政課 TEL:025-526-5111

平成30年度農作業安全管理者研修会（養成）の開催について

全3回の農作業安全管理者研修会を、12月4日、11日、18日（いずれも13時～16時）、上越支店にて開催いたします。2回目のみ、3回目のみ参加も可能です。参加を希望される方は農業対策課（経営サポート）へお申し込みください。



JAえちご上越が労働保険の加入推進で表彰されました！

11月12日に行われた全国労働保険適正加入促進会議にて、全国労保連会長表彰を受けました。当JAでは、平成21年に労災保険の事務委託を開始し、管内の法人・個人に労災保険への加入を呼び掛けてきました。

平成30年11月現在の労災保険加入状況

労災保険加入事業所数	166
特定農作業従事者数	292
指定農業機械作業従事者数	192

労災保険の加入・変更等につきましては、農業対策課（経営サポート）へご相談ください。

「チェーンソー資格取得講習会」のご報告

11月8日から11日にかけてチェーンソー資格取得講習会（伐木等の業務に関わる特別教育）を開催しました。今年は37名の方からご参加いただき、修了者は延べ320名となりました。チェーンソーは使い方を誤れば死亡事故に直結します。既に修了された方も初心に返って安全使用を心がけましょう！



担い手通信(タックス)発行元・お問い合わせ先
JAえちご上越 営農部 農業対策課(経営サポート)
TEL 025-527-2035
FAX 025-527-2019
Eメール j.nougyosupport@ja-ej.com
ホームページ <http://www.ja-echigojoetsu.or.jp>

申告の準備を始めていますか？

早めに始めれば、後が楽になります。

